テーマ：「考えの形成」をめざした授業づくり

国語の授業づくりモデル小学校
八尾市立八尾小学校

つけたい力

「考えの形成」をめざした情報・言語の活用力

取組みの概要・ポイント

・「考えの形成」を意識した単元づくり　・児童の感想、疑問から始める単元計画(わからんベース)
・児童の考えのズレを生む学習課題づくり(判断でしかける＝限定・比較・否定)　・デジタルとアナログの併用

具体的な取組みの内容　「考えの形成」をめざした授業づくりと手立て

【「考えの形成」を意識した単元づくり】

構造と内容の把握

「わからないこと」を基にした課題づくり
筆者の工夫やいいところを見つけよう
➡作品のわからない、なんでだろうを見つけよう

子どもたちの「わからない」を大切に

精査・解釈

「情報活用力」「言葉でまとめる力」の育成に向けたしかけ
〇判断でしかける!(読み手の視点での考えの形成)
(限定・比較・否定→しぼって、くらべて、のりこえる)
☆子どもたちの考えのズレによって対話が生まれる
ゆさぶり発問　エラーモデル　対比資料　本文のみ教材文
事例の書き換え　題名の書き換え　など
➡「筆者はなんでこんな風にしたんだろう」
(書き手の視点での考えの形成)につなげる

・比較対象
(自分の考え⇔筆者の考え)
・選択肢があることで思考が活性化する
＝読み手と書き手の立場の往還

第2次第〇時の考えの形成(プロセス)	第2次第〇時の考えの形成(プロセス)	第2次第〇時の考えの形成(プロセス)

考えの形成

単元最後の考えの形成(ゴール)
☆言語活動例一覧作成
A…学習したことを活かして、考えをまとめる、次のことに広げていく
(**読み手の立場で書く**)　例　学習レポート
B…筆者の書き方を使って、説明文を書く
(**書き手の立場で書く**)　例　〇〇を書こう

考えの形成には「プロセス」と「ゴール」の両方が必要

【語彙の獲得】
・教科書巻末「学習に用いる言葉」の教室掲示
・慣用句・ことわざの階段掲示

【デジタルとアナログの併用】

本文・資料・挿絵などの情報操作・活用が容易になる

☆交流の手段として有効

【教員間での知識・授業実践の共有】
・研究授業まとめ…研究授業後配付
☆研究授業後に討議の内容をまとめ、配付することで、日々の授業につなげている
・全体研修…授業づくり研修
アンケート結果等分析・共有
・ミニ研修 …経験の浅い教員向け研修
・学年会議…各単元前に授業案検討
・国語通信…学習指導要領、府研修、他校実践の共有
自校実践の共有
☆学校全体で同じ方向を向いて取り組めるように!

その他の取組みについては
下記QRコードへアクセス!!

取組みを通しての子どもの変容

・単元の言語活動での書く意欲の高まり、内容の充実が見られる。・「わからない」ことが動機付けとなって、本文をより深く読もうとする姿につながっている。
・「授業で、文章や資料などから読み取った情報をもとに、自分の考えをまとめることができましたか」(4～6年　7月91%→12月94%)
・「国語の授業は好きですか」(全学年　7月72%→12月76%　そう思わない　11%→7%)